

アオミドロ語誌参考文献一覧

仲田 崇志・北山 太樹

これまで『アオミドロ語誌 (1-5)』・『アオミドロ語誌拾遺 (1・2)』と題してアオミドロという語に関する歴史を探ってきた(仲田・北山 2022, 仲田 2022, 2023a-e)。これらの中では古典籍や現代辞書を含む多くの資料を参照したが、囲み記事の性質上、多数の引用文献を全て示すことは避けてきた。しかし使用した古典籍の底本や、使用した辞書の版・刷、背景情報の調査に用いた資料などの情報も、内容の裏付けのために必要である。

そこで本稿では、『語誌』・『語誌拾遺』中で使用した文献を一覧した。本文中で言及しなかったが確認した文献も一部含めた。確認はしたが、直接関連する記述が見つからなかった文献などは割愛した。

参考文献は、古典籍(明治より前の文献)の写本・刊本(ウェブ上で確認したものには URL を示した)、古典籍の影印(原典や写本を複写したもの)・翻刻(活字化したもの)など、明治以降の辞書・事典類、明治以降のその他文献、に分けて一覧した。使用した記事は括弧内に数字などで示した(『語誌(3)』と『語誌拾遺(1)』・『語誌拾遺(2)』であれば「(3、拾1、拾2)」)。

百科事典や歌集など全巻揃って意味を持つ文献については、使用した巻に関わらず全巻を引用した。旧字体や中文の簡体字は、原則として新字体に改めた(一部人名を除く)。原則として使用した版の初刷りの発行年を示したが、必要と判断した場合には使用した刷り(資料により版など)と発行年を括弧内に示した。結果として『語誌』・『語誌拾遺』中で引用した発行年と異なる場合がある。

古典籍の書誌情報については一部『補訂版 国書総目録』(国書研究室 1989-1991)・『国書人名辞典』(市古ら 1993-1999)・『古典籍総合目録』(国文学研究資料館 1990)・『国史大辞典』(国史大辞典編集委員会 1979-1997) を参照した。また必ずしも西暦が定まらないため発行年は元号で示し、発行所は省いた。『新撰六帖題和歌』の各写本については、佐藤 (1979) による呼称(括弧内に所蔵者請求記号)と書写年代を示した。明治以降の資料の発行年は西暦で示した。

古典籍(写本・刊本)

藤原家良・藤原為家・藤原知家・藤原信実・藤原光俊 寛元頃. 新撰六帖題和歌. (4)

内閣文庫蔵(201・726)伝正親町公通筆本(江戸前期~中期写)https://kokusho.nijl.ac.jp/biblio/100012212/

内閣文庫蔵(201・769)本(江戸初期写)https://kokusho.nijl.ac.jp/biblio/100012209/

書陵部蔵(502・418)伝万里小路惟房筆六半本(16世紀中ごろ写)https://kokusho.nijl.ac.jp/biblio/100061445/

書陵部蔵(510·30)智仁親王筆本(安土桃山~江戸初期写)https://kokusho.nijl.ac.jp/biblio/100061444/

風之子(編)元文6.倭節用悉改嚢.(3)

稲生宣義・丹羽貞機(編)元禄 10- 延享 4(写本, 年代不明)庶物類纂. (3) https://dl.ndl.go.jp/pid/2610175 貝原好古(編)元禄 7. 和爾雅. (3)

河辺桑揚(編)・堀源入斎(遺草)・堀原甫(再編)天保2. 永代節用無尽蔵. (3)

(『語誌 (3)』では「(1831)」としたが、刊記に「天保二年 辛卯晩冬」とあり、新暦上は 1832 年刊か)

槇島昭武(編)享保2. 和漢音釈書言字考節用集. (3)

水谷豊文 文政 8. 物品識名拾遺. (2)

森楓斎 安政 2. 雅俗幼学新書. (3)

中村平五三近子(編)享保18. 悉皆世話字彙墨宝. (3)

岡林清達(稿)・水谷豊文(編)文化6(文政8?). 物品識名. (2,3)

柴野栗山・柴野貞穀(重修)・辻言恭(校)明和元(天明6). 雑字類編. (2.3)

下河辺拾水(画)天明8.万宝節用富貴蔵.(3)

高井蘭山・中村経年(選)宝永元(補刻,文久3). 江戸大節用海内蔵. (3)

高安蘆屋(草)・鎌松荷(増刪)寬政 13. 都会節用百家通. (3) https://books.google.co.jp/books?id=SDXc M4EY3wC

古典籍(影印・翻刻など)

B・H・日本語研究ぐるうぷ (編) 1973. 新刊 多識編. 文化書房博文社, 東京. (2,3)

張自烈(著)・廖文英(編)・董琨(整理)1996. 正字通. 中国工人出版,北京. (拾1)

土井忠生・森田武・長南実(編訳)1980. 邦訳 日葡辞書. 岩波, 東京. (4)

(編者不明) 1960. 日葡辞書. 岩波, 東京. (4)

(編者不明) 1961. 天正十八年本 節用集. 白帝社, 東京. (3)

亀井孝(編) 1960-1970. 五本対照改編節用集, 1-10. 私家版. (3)

北村四郎・塚本洋太郎・木島正夫 1986-1991. 本草図譜総合解説,1-4. 同朋舎出版,京都. (2,3)

古辞書叢刊刊行会(編)1975. 原装影印版古辞書叢刊 色葉字類抄(二巻本)四冊 蔵版 尊経閣文庫. 雄松堂,東京. (3)

国書刊行会(編) 1907. 続々群書類従, 14. 国書刊行会, 東京. (4)

古典保存会(発行)1926-1928. 色葉字類抄、上・中・下、古典保存会、東京、(3)

久保田淳(校訂・訳) 2017. 藤原定家全歌集、上・下、筑摩書房、東京、(4)

京都大学文学部国語学国文学研究室(編)1962(再版,1964). 慶長三年耶蘇会板落葉集. 京都大学国文学会,京都. (3)

京都大学文学部国語学国文学研究室(編)1973. 天治本新撰字鏡, 增訂版. 臨川, 東京. (3)

京都帝国大学文学部国語学国文学研究室(編)1943. 狩谷棭斎箋注倭名類聚抄. 全国書房. 大阪. (3)

李時珍1993. 本草綱目〔金陵版〕. 上海科学技術出版社, 上海. (3,拾1)

李時珍・王育傑(整理) 2022. 本草綱目(金陵版排印本), 2版, 上・中・下. 人民衛生, 北京. (3,拾1)

槇島昭武(編)1975. 享保二年板 書言字考節用集. 前田書店, 大阪. (3)

丸山裕美子・武倩(編) 2021. 本草和名一影印・翻刻と研究一. 汲古書院, 東京. (3)

正宗敦夫(編) 1933・1934. 日本古典全集 本朝食鑑,上・下.日本古典全集刊行会,東京. (3)

正宗敦夫(校訂) 1954・1955. 類聚名義抄, 1・2. 風間書房, 東京. (3)

正宗敦夫(編) 1967. 倭名類聚抄, 1·2. 風間書房, 東京. (3)

正宗敦夫(編) 1976. 伊呂波字類抄. 風間書房, 東京. (3)

三澤薫生 2008. 谷川士清自筆本倭訓栞 影印・研究・索引. 勉誠出版, 東京. (3)

森由雄(編著) 2018. 名医別録解説. 源草社, 東京. (拾1)

那琦・謝文全(重輯)1977. 重輯名医別録. 中国医薬学院中国薬学研究所, 台中. (拾1)

中田祝夫 1968. 古本節用集六種 研究並びに総合索引. 風間書房, 東京. (3)

中田祝夫・小林祥次郎(編)1977. 多識編 自筆稿本刊本三種 研究並びに総合索引, 影印篇・索引篇. 勉誠社, 東京. (2,3)

中田祝夫・根上剛士 1971. 中世古辞書四種 研究並びに総合索引,影印篇・索引篇. 風間書房,東京. (3)

岡西為人 1978. 重輯新修本草. 学術図書刊行会, 川西. (3)

島田勇雄(訳注)1976-1981. 本朝食鑑, 1-5. 平凡社, 東京. (3)

「新編国歌大観|編集委員会(編)1983-1992. 新編国歌大観,1-10(歌集・索引). 角川,東京、(4)

杉本つとむ(編著)1974. 小野蘭山 本草綱目啓蒙 ―本文・研究・索引―. 早稲田大学出版部, 東京. (2-5,拾2)

谷川土清(編)・井上頼圀・小林榅邨(増補)1990.増補語林 和訓栞、上・中・下・後編、名著刊行会、東京、(3)

寺島良安(編)・和漢三才図会刊行委員会(編)1970. 和漢三才図会,上・下.東京美術,東京.(3)

東京大学国語研究室(編)1985. 倭名類聚抄京本 世俗字類抄二巻本. 汲古書院, 東京. (3)

王嘉(選)・蕭綺(録)・斉治平(校注) 1981 (6刷, 2021). 拾遺記校注. 中華書局, 北京. (拾1)

与謝野寛・正宗敦夫・与謝野晶子(編纂・校訂)1926. 日本古典全集第一回 本草和名,上・下.日本古典全集刊行会,東京. (3)

財団法人永青文庫(編)1983.細川家永青文庫叢刊,4.新撰六帖和歌 他三種.汲古書院,東京.(4)

財団法人前田育徳会(編)1984. 尊経閣蔵三巻本色葉字類抄. 勉誠社, 東京. (3)

財団法人日本古典文学会(編)1981.日本古典文学影印叢刊,15.新撰六帖·御室五十首·光台院五十首.貴重本刊行会,東京.(4)

財団法人冷泉家時雨亭文庫(編)1993. 冷泉家時雨亭叢書,8. 拾遺愚草 上中. 朝日新聞社,東京. (4)

財団法人冷泉家時雨亭文庫(編)1995. 冷泉家時雨亭叢書, 9. 拾遺愚草 下・拾遺愚草員外・俊成定家詠草・古筆断簡. 朝日新聞社, 東京. (4)

辞書•事典類(明治以降出版)

編輯寮 (6巻より文部省編輯局) 1871-1884. 語彙, 1-13. 文部省, 東京. (2,5)

市古貞次・堤精二・大曽根章介ら(編)1993-1999. 国書人名辞典, 1-5. 岩波, 東京. (2)

見坊豪紀・市川孝・飛田良文・山崎誠・飯間浩明・塩田雄大(編)2022. 三省堂国語辞典,8版. 三省堂,東京. (5)

金田一春彦・金田一秀穂(編) 2017. 学研現代新国語辞典, 6 版. 学研プラス, 東京. (5)

金田一京助・佐伯梅友・大石初太郎・野村雅昭・木村義之(編)2022. 新選国語辞典, 10 版、小学館、東京、(5)

北原保雄(編) 2021. 明鏡国語辞典, 3版. 大修館, 東京. (5)

国文学研究資料館(編)1990. 古典籍総合目録 —国書総目録続編, 1-3. 岩波, 東京. (2,4)

国史大辞典編集委員会(編)1979-1997. 国史大辞典, 1-15. 吉川弘文館, 東京. (2)

国書研究室(編) 1989-1991. 補訂版 国書総目録, 1-8・著者別索引. 岩波, 東京. (2,4)

松村明 2019. 大辞林, 4 版. 三省堂, 東京. (5,拾 2)

諸橋轍次 1989-1990 (7刷, 2007). 大漢和辞典, 2版, 1-12. 大修館書店, 東京. (拾1)

日本国語大辞典第二版編集委員会·小学館国語辞典編集部(編)2000-2002. 日本国語大辞典,2版,1-13. 小学館,東京. (2,4)

西尾実・岩淵悦太郎・水谷静夫・柏野和佳子・星野和子・丸山直子(編)2019. 岩波国語辞典、8 版. 岩波、東京、(5)

沖森卓也・倉島節尚・加藤知己・牧野武則(編) 1996. 日本辞書辞典. おうふう. 東京. (3)

相賀徹夫(編) 1967-1972. 大日本百科事典, 1-23, 小学館, 東京, (拾2)

相賀徹夫(編) 1972-1976. 万有百科大事典, 1-21. 小学館, 東京. (拾2)

相賀徹夫(編) 1984-1989. 日本大百科全書, 1-25. 小学館, 東京. (拾2)

小野正弘・市川孝・見坊豪紀ら(編)2019(2 刷, 2020). 三省堂現代新国語辞典, 6 版. 三省堂, 東京. (5) (『語誌 (5)』の「(2018)」は誤り)

大槻文彦 1889-1891 (2版, 1891). 言海. 大槻文彦, 東京. (5)

大槻文彦 1932-1935. 大言海, 1-4. 冨山房, 東京. (4,拾2)

佐竹秀雄(編) 2018. デイリーコンサイス国語辞典, 6 版. 三省堂, 東京. (5)

新村出(編) 1955 (3刷, 1955). 広辞苑, 初版. 岩波, 東京. (5)

新村出(編) 2018. 広辞苑, 7版. 岩波, 東京. (5,拾2)

小学館辞典編集部(編)2016. 現代国語例解辞典,5 版. 小学館,東京. (5)

藤堂明保・加納喜光(編) 2005. 学研新漢和大字典, 学習研究社, 東京. (拾1)

山田忠雄・倉持保男・上野善道・山田明雄・井島正博・笹原宏之(編)2020. 新明解国語辞典, 8 版. 三省堂, 東京. (5) 吉田金彦 2001. 語源辞典 植物編. 東京堂, 東京. (拾2)

その他 (明治以降出版)

江見水蔭 1909. 黒髪街道. 春陽堂, 東京. (5)

博物館 1880. 博物館列品目録 天産部植物類. 内務省博物局, 東京. (1)

濱田仁 1992. 接合藻の和名の提唱と学名の由来について. 藻類 40:57-60. (拾2)

松村任三 1895. 改正增補 植物名彙. 丸善, 東京. (1)

三好学 1888. 植物自然分科一覧表. 丸善, 東京. (1)

三好学 1889. 植物教科 隠花植物大意. 敬業社, 東京. (1)

三好学 1890. 中等教育 植物学教科書,上・下.敬業社,東京(1)

三好学 1892. 植物自然分科一覧表, 再版, 丸善, 東京, (1)

長林三之助 1916. 長林式改良発明農蚕経済全書. 交文社, 松本. (5)

長野県農事試験場 1920. 増訂 殺菌剤駆虫剤要覧. 長野県農事試験場. (5)

ながさわ 2021. 比べて愉しい国語辞書 ディープな読み方. 河出書房新社, 東京. (5)

直木孝次郎 1983. 日本の古辞書. 中田祝夫・和田利政・北原保雄(編) 古語大辞典. pp. 1808-1836. 小学館, 東京. (3)

岡村金太郎 1890. 植物学教科書. 冨山房, 東京. (1)

岡村金太郎 1902. 日本藻類名彙. 敬業社, 東京. (1)

沖森卓也(編) 2008 (3 刷, 2011). 図説日本の辞書. おうふう, 東京. (3)

佐藤恒雄 1979. 『新撰六帖題和歌』の諸本について. 中世文学研究 5:35-55. (4)

施滸(編) 2004. 羅漢藻類名称. 海洋出版, 北京. (5)

下中邦彦 1979. 日本歴史地名大系, 27. 京都市の地名. 平凡社, 東京. (拾2)

白井光太郎 1893. 中等植物学教科書,(正)・続. 金港堂書籍,東京.(1)

須川賢久(訳)1875-1877. 具氏博物学, 1-10. 文部省, 東京(1)

安本徳寛 1885. 植物書. 製紙分社, 東京. (1)

引用文献(前掲のものは参照のみ)

市古ら 1993-1999. [辞書・事典類(明治以降出版)参照].

国文学研究資料館 1990. 「辞書・事典類 (明治以降出版) 参照].

国史大辞典編集委員会 1979-1997. [辞書・事典類 (明治以降出版) 参照].

国書研究室 1989-1991. 「辞書・事典類(明治以降出版)参照〕.

仲田崇志 2022. アオミドロ語誌 (2):アオミドロの初出と江戸時代の用例. 藻類 70:182.

仲田崇志 2023a. アオミドロ語誌 (3): 陟厘・アオノリ・アオミドロ. 藻類 71: 21.

仲田崇志 2023b. アオミドロ語誌 (4):アオミドロの語源は「あをみどり」. 藻類 71:23.

仲田崇志 2023c. アオミドロ語誌 (5):アオミドロの漢字表記. 藻類 71:80.

仲田崇志 2023d. アオミドロ語誌拾遺(1): 陟厘の語源と意味. 藻類 71:92.

仲田崇志 2023e. アオミドロ語誌拾遺(2):アオミドロの語源諸説. 藻類 71:164.

仲田崇志・北山太樹 2022. アオミドロ語誌 (1):アオミドロと Spirogyra. 藻類 70:165.

佐藤 1979. [その他 (明治以降出版) 参照].